

第54回 青森県中学校春季バドミントン選手権大会

競技部会長	棟方 仁人（明徳中学校校長）
競技委員長	太田 英也（弘前東中）
副競技委員長	福岡 優太（青森南中） 沖野真智子（弘前東中） 安田 優弥（碓ヶ関中）
競技委員	石田 義剛（七戸中） 桑村 拳也（深浦中）
総務	太田 英也（弘前東中） 福岡 優太（青森南中） 石岡 聖逸（弘前二中）
進行	〈メ〉齊藤 康子（津軽中） 〈メ〉鎌田 瞳（弘前一中） 〈メ〉生田 咲智（弘大附属中） 〈メ〉八木澤鷹子（黒石中） 〈メ〉福田 聡子（十和田東中） 〈サ〉石戸谷歌織（浦町中） 〈サ〉山谷 裕香（浪打中） 〈サ〉長内 聡（筒井中）
シャトル係	〈メ〉泉谷 早香（弘前二中） 〈メ〉鹿内 恵美（十和田中） 〈メ〉関田葉々子（横浜中） 〈メ〉西村萌々子（新城中）
招集	〈メ〉工藤 真也（弘前一中） 〈メ〉石田 義剛（七戸中） 〈メ〉市川 雅将（十和田東中） 〈メ〉沖野真智子（弘前東中） 〈メ〉三上明日紀（大鰐中） 〈メ〉川畑 吉広（東北中） 〈メ〉笹森 康慎（中郷中） 〈サ〉久慈 睦（八戸一中） 〈サ〉森川 喜介（明徳中） 〈サ〉木村 駿大（甲東中）
記録	〈メ〉亀山 宗範（弘前一中） 〈メ〉石岡 聖逸（弘前二中） 〈メ〉小林 和史（弘大附属中） 〈メ〉安田 優弥（碓ヶ関中） 〈メ〉澤田 悠史（造道中） 〈メ〉平山 尚己（浪打中） 〈メ〉川原田一樹（甲田中） 〈メ〉中畑 研哉（木造中） 〈メ〉
受付	繁在家幸世（甲田中） 坂本早紀子（青森南中） 望月 聡子（横内中）
掲示	三上明日紀（大鰐中）
賞状	安田 優弥（碓ヶ関中） 亀山 宗範（弘前一中） 小林 和史（弘大附属中）
報道	福岡 優太（青森南中） 山下 翼（浪岡中） 太田 英也（弘前東中）
会場	齋藤 光（新城中） 成田 達彦（青森山田中）
補助生徒	造道中・青森南中・新城中バドミントン部員

- 主催 青森県バドミントン協会
- 共催 青森県中学校体育連盟
- 会期 令和6年 5月25日（土） 会場準備 8:00 *青森市内校は8:00からの準備の手伝いをお願いします。
開館 9:20 監督会議 9:40 諸連絡 10:00 団体戦開始 10:10
準備が早く終われば、会議や試合開始は早まります。
令和6年 5月26日（日） 開館 8:00 個人戦開始 8:40
- 会場 新青森県総合運動公園「マエダアリーナ」
〒039-3505 青森市大字宮田字高瀬22の2 TEL017-737-0600

5. 競技規則 <全般的>

- ①大会要項、令和6年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程に準じて実施する。
- ②個人戦の得点について 試合数が多いことから選手の体力を考慮して、ゲームの得点を次のようにする。

【1ゲーム15点 3ゲームマッチの試合】 BS153、BD80、GS136 GD85 までは15点先取。

8点で60秒以内のインターバル、ゲーム間に120秒以内のインターバル

14オールの場合、2点リードするまで 最大21点 3セット目は8点でチェンジエンド

【1ゲーム21点 3ゲームマッチの試合】 BS154、BD81、GS137、GD86 からは正式ポイント。

11点で60秒以内のインターバル、ゲーム間に120秒以内のインターバル

・時間短縮のため、個人戦の試合前の練習は試合球の試し打ち程度とする。 ・団体戦の得点は正規ポイントとする。

- ③シャトルは1種もしくは2種検定球とする。
- ④主審が認めたとき以外、シャトル交換は認めない。

<団体戦>

- ①団体戦でベンチ入りできるのは、監督（教職員・部活動指導員・地区中体連に申請済みのクラブの指導者）1名、マネージャー（選手・教職員）またはコーチ（校長が認めた者・地区中体連に申請済みのクラブの指導者）1名、選手7名と

する。マネージャーは選手として試合に出場できない。

②オーダーの提出は試合20分前、または指示のあった時刻までに記録係に提出する。オーダーは試合ごとに提出する。

③練習は挨拶のあと、試合ごと2分ずつ行う。(シングルスは対戦相手と練習)

④試合の順序は第1ダブルス、シングルス、第2ダブルスの順とする。

なお、同一選手が単と複、及び複と複を兼ねて出場することはできない。

⑤団体戦の1回戦は勝敗がついても、第2ダブルスを1セット目まで行う。

⑥2回戦以降は2点先取制とする。

⑦試合の進行状況により、コートを2面、3面にわたって試合を進めることや、コートや時間の変更をする場合がある。

<個人戦>

①個人戦でベンチ入りできるのは、監督(教職員・部活動指導員・地区中体連に申請済みのクラブの指導者)、マネージャー(選手・教職員)、コーチ(校長が認めた者・地区中体連に申請済みのクラブの指導者)、アドバイザー(教職員・部活動指導員・地区中体連に申請済みのクラブの指導者)のうち2名とする。

<審判>

①団体戦の1回戦は対戦校から主審・ラインズマン・カウンターを出して相互審判で行う。

2回戦以降は敗者審判(主審・ラインズマン)とする。カウンターは対戦校から出す。準決勝以上の試合については、準々決勝の敗者から放送等で割り当てる。

②個人戦は敗者審判とし、カウンターは主審の学校から出すこと。ラインズマンは対戦校より出すこと。(第一試合のみ放送等で割り当てる。)

<審判上の注意>

①会場の付属物にシャトルが触れた場合はフォルトとする。

②次の場合は棄権または試合放棄とみなす。

- ・団体戦で20分前までに、または指示のあった時刻までにオーダーの提出がなかった場合。
- ・何の連絡もなく定刻に集合しなかった場合。
- ・けがなどで試合の続行が不可能な場合。

③抗議は認めない。不審な点は、当該プレイヤーか監督が礼儀正しく質問する。

④次の行為は厳に慎むこと。

- ・必要以上の汗ふきや靴ひもの結び直し。
- ・極端に遅いレシーバーの構え、サーバーの長い停止。
- ・相手を威圧するような行為・発声・声援。

<選手変更等について>

①団体戦

- ・監督、マネージャーまたはコーチ、選手の変更は監督会議時に受け付ける。以降の変更は認めない。

②個人戦

- ・監督、アドバイザーの変更は監督会議時に受け付ける。以降の変更は認めない。
- ・個人戦の選手変更は原則として認めない。
- ・個人戦に参加している選手が病気等の事情により参加できない場合は、監督会議の承認を得て、当該校から個人戦に登録されていない選手を補充できる。ただし、すでに個人戦に登録されている選手同士での変更については認めない。

6. 服 装

- ・検定ウェアを着用すること。上衣の背面中央部に、学校名及び姓と名前の一文字目を小さく入れて表示する。

7. 表 彰

- ・団体戦は3位までに賞状を授与し、個人賞状も授与する。
- ・個人戦はベスト8までに賞状を授与する。

8. 抽選方法

- ・団体戦は、前年度青森県中学校秋季バドミントン大会のベスト4の学校をシードする。
- ・個人戦は、前年度青森県中学校冬季バドミントン選手権大会の各種目ベスト4の学校をシードする。

9. そ の 他

- ・本大会の各種目ベスト4に入賞した地区を、青森県中学校体育大会夏季大会においてシードする。